

土地利用基本計画(原案)への三重県国土利用計画審議会意見の反映状況

No	委員	項目	委員意見	事務局回答	対応・表記等
1	池田	情報化の先進県	今、情報化の波、IoTなどの整備は避けて通れない問題なので、その情報先進県を目指すような方向を何か入れてもらえると良い。	情報については、計画の中に入れる方向で考えたい。	・(P6-36行)「特に南北に細長い三重県では、情報システムの高度化により、産業振興や生活環境支援等を行い、地域活性化を進めていくことが有効である。」
2	新海	人及び生業の交流	5つのゾーニングは必ずしなければいけないが、そこに三重県らしさを活かして、人や生業の交流などを足すことはできないか。	人や生業の交流などについては、土地の利用に関してそういった観点で記載していくことは可能だと思うので、検討の中に入れていきたいと思う。	・(P7-29行)「自然公園などの自然資源や、農山漁村における緑豊かな環境、人と地域の自然との関わりの中で育まれた伝統や文化等を活かした観光、産品による雇用の創出及び経済循環を通じて、都市や農山漁村など、様々な地域間相互の交流を促進する～」
3	浅野	参考データの提示	次回審議会に、参考としたデータを委員に示していただきたい。	過去のデータと、今後37年に向けた何らかの資料を検討させていただく。	・人口推計等、本文の中にデータを示しました。
4	木村 数馬	北勢地域の自然保全	北勢地域は、まだまだ発展させていこうという傾向であるが、そこに自然環境への配慮をしながらとか、これ以上悪化しないという方向性を記載して欲しい。	北勢地域においても自然環境を残していくという方向性は、中に入れていくということで検討させていただく。	・(P2-2行)「今後の土地利用の減少を見据えて、低・未利用地の適正な活用、都市地域に残る緑地や里山などを原則保全し、生活住環境が悪化しない方策を採る必要がある。」
5	白鳥	三重県国土強靱化地域計画との整合	三重県国土強靱化地域計画と土地利用基本計画は整合が図られているのか。	国土強靱化地域計画についても、反映していきたい。	・三重県の国土強靱化地域計画を反映した内容にしました。 ・(P6-21行)「安全で安心できる住生活、地域活動の場は、社会の営みの基盤であり、災害が発生したとしても、人命を守り、経済社会が致命的なダメージを受けず、被害を最小化してすみやかに復旧・復興できるように、県土の強靱化を進めていく必要がある。」
6	新海	個別法の計画との関係	土地利用基本計画と他の法律及び計画との関係。観光の計画等、どの計画と結びつきがあるのかを示して欲しい。	土地利用基本計画には指標や目標がなく、5つの地域に紐付く個別法の調整を行う計画となっている。実際の規制は、各地域ごとの各法律に基づく施策で行うことになる。	・参考として、三重県における各個別法の制度を、5頁以降に図で示しました。土地利用基本計画は約10年を期間とした計画、各個別法は個々に計画等の期間を定めており、個別法に基づく計画や基準策定において、土地利用基本計画の方向性に沿った決定を行うこととなります。
7	浅野	個別法の進行管理	個別法の進行管理状況を書いていただくと良い。また、本計画がどう調整されているかも示して欲しい。	(回答なし)	同上
8	上尾	森林地域の長期視点	森林は、長期スパンで見なければならぬ分野であり、そういった視点も計画の中に入れていただきたい。	育林は、50年、100年というスパンで考えていることもあり、長期視点に立った土地利用も計画の中に入れていきたい。	・(P11)「育林には長期的な時間を要することから、50年、100年といった長期的展望に立った土地利用を計画していく。」

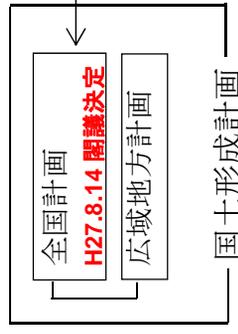
No	委員	項目	委員意見	事務局回答	対応・表記等
9	菅尾	住生活基本計画との整合	三重県の住生活基本計画との整合を図って欲しい。	安全な場所への住居の移動など、そういった部分を検討課題として入れていきたい。	・(P7-39行)「災害リスクの把握及び周知を図った上で、災害リスクの高い地域については、土地利用を適切に制限することが必要である。その際、規制の対象となる建築物の用途や構造が災害の特性や地域の状況等に即したものとなるよう配慮する。」 ・(P12-31行)「地域の状況を踏まえつつ、都市の集約化に向けて居住を中心部や生活拠点等に誘導したり、災害リスクの高い地域での整備を適切に制限する。」
10	木村	低・未利用地の定義	原野と低未利用地は、どういう場所を指しているのか。	具体的な定義はないと思うが、その辺りについては勉強させていただく。	・P5の「(4)土地利用における課題」の説明の中で、「低・未利用地」の前に「利用目的が定かでない更地や遊休化した跡地や駐車場等」との記載を入れました。 ・P11に「原野等のうち、湿原、草原など」と事例を提示しました。一般的に耕作の方法によらないで雑草、かん木類の生育する土地を原野と呼びます。
11	木村	集約化・効率化した土地	集約によって使われなくなった土地をどのように活用するのか。そのことを今から考えていかなければいけないのではないか。	集約していけば、未利用地が出てくるので、そういった土地を何に使うのか、検討し、提示したい。	・P13の「(11)低・未利用地」において、土地利用方法を例示しました。 ・(P15-22行)「集約化に伴い生じる未利用地等については、計画的に他用途への転換を図るなど、地域全体で調和の取れた土地利用を行う。」
12	新海	長期的な土地利用の三重県のミッション	長期に渡っての資源や土地利用の活用方法について、ミッションを明確に記載してもいいのではないかと。	(回答なし)	・今回の土地利用基本計画は、平成37年までの約8年間の土地利用の方向性を記載しています。それ以上の長期の土地利用については、社会構造の転換が今後どのように進むか定かではなく、現段階では示すことができないと考えます。
13	新海	サミットのレガシー	サミットのレガシーが、持続的な開発とか、サステイナブルなコミュニティづくりなど、そういう言葉、国際的に発信したことを含めて、県土をこういうふうに使っていくということを明記しても良いのではないかと。	サミットのレガシーというと、知名度とか観光における部分が多いと思うが。継続的にレガシーを活かしていくような土地利用を考えたい。	・下記のように、文言を入れました。 ・(P6-6行)「三重県には、緑豊かな自然や伝統的な社会・文化施設があり、これらを見聞・体験するために全国、また全世界から人々が訪れ、地域は賑わい、経済・社会が活性化している。人と自然との関わりの中で育まれてきた景観や美しい農山漁村の集落や街並み、魅力ある都市空間や水辺空間等を保全、再生、創出し、次世代に継承して地域の魅力を高めることによって、個性ある地域が創生される。これらの循環を守っていくためにも、自然環境と景観等の保全は重要である。」
14	北村	南部地域の過疎化対策	南部地域の人口が大幅に減少している。南部地域の社会のシュミレーションが必要ではないかと。	地域連携部で南部地域活性化を行っており、部全体で検討を進めていきたい。	・(P10-3行)「農林水産物の高付加価値化や新たな木材需要の創出等を通じた農林水産業の成長産業化等によって雇用促進や所得向上を図り、地域社会の経済循環を保持するように努める。」
15	鵜飼	6次産業化	6次産業化は簡単ではないので、もう少し表現を変えていただければと思う。	(回答なし)	・「6次産業化」の表記は削除しました。

No	委員	項目	委員意見	事務局回答	対応・表記等
16	鵜飼	歩いて行ける範囲での拠点	歩いて行ける範囲で小さな拠点を作るというのは、どういことか。	第5次国土利用計画の農村地域における記載を引用しています。	・拠点化は有効な方法であり、離散した住宅地で車の使用なしに充足した社会を営むことは、困難と考えます。 ・(P10-6行)「急激な人口減少により生活サービス機能等の維持が困難になると見込まれる中山間地域等の集落地域においては、日常生活に不可欠な施設や地域活動を行う場を集め、周辺地域と公共交通などのネットワークでつないだ「小さな拠点」の形成を進めることが有効となる。住宅の集約化やネットワークの形成には、長期的な展望が必要であり、効率的な土地利用を進めるためにも、長期的な計画を策定していくことが重要となる。」
17	浅野	太陽光発電	最近の土地利用の動きとして、太陽光発電に絡む新しい動きが見られてきており、適切な利用を進めていく必要があるということを書いてはどうか。志摩市の作らない条例、県のソーラーガイドラインも紹介してはどうか。	(回答なし)	・(P4-26行)1(3)の「県土をめぐる情勢の変化」、ウの「太陽光発電設備の台頭」で、三重県における太陽光発電の現状を明記しました。
18	木村	歩いて行ける範囲での拠点	鵜飼委員と同じ。現実的には車で10分行く形で皆さん動いている。利用という面でも現実を見据えて。平野部だけで考えてはいけないと思う。	三重県に合った記載にしたい。	・No16と同じ。
19	新海	市町との関係	土地利用基本計画は、市町との関係が分からない。	(回答なし)	・個別法における市町との関係は、No6と同じ。 ・(P8-31行)「これらの取組は、国等が示す広域的な方針とともに、各地域を取り巻く自然や社会、経済、文化的条件等を踏まえ、地域の発意と合意形成を基礎とする土地利用との総合的な調整の上実現される。このため、地域住民や市町など、地域の様々な主体が自らの地域の土地利用や地域資源の管理のあり方等について検討するなど、地域主体の取組を促進することが重要である。」
20	新海	人材育成	三重県の土地をどのように使い、持続的に暮らしていくか考える人材を育てる必要がある。	茨城県の計画には人づくりが含まれており、三重県でも何らかの特徴を出した土地利用基本計画にしていきたいので、人づくりについても検討したい。	・(P8-39行)「県民一人ひとりが県土利用に関心を持ち、その管理の一端を担う県民参加による県土管理(県土の県民的経営)を進めていくことが、一層、重要となる。そのためには、地域の土地をどのように利用し、持続的に生活の営みを行っていくのか、そのことを鋭意工夫検討する人材の育成が重要になる。」
21	浅野	市町との関係	個別法で市町への権限委譲など説明。市町との計画で整合が取れているといったことを、図に示して欲しい。	(回答なし)	・No6と同じ
22	池田	感性とおもてなし	美し国、人づくり、感性の日本一。そういう人材を作る土地利用を入れてはどうか。	(回答なし)	・人材育成については、No20のとおり記載しました。

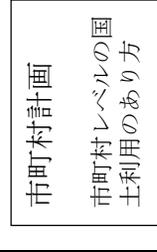
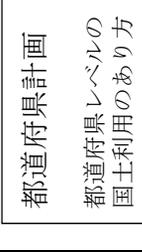
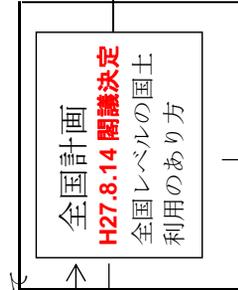
No	委員	項目	委員意見	事務局回答	対応・表記等
23	浅野	地籍調査事業	三重県は地籍調査事業がワーストぐらい。土地の境界が不明確であると復興に支障が出る。市町と話し合いながら進めているという県の取組姿勢を記載して貰えば。	(回答なし)	・下記のとおり記載しました。 (P5)「地積調査事業は、国、都道府県、市町が事業費を負担し、市町事業として実施されているが、三重県は全国水準に比して非常に進捗率が低い状況にあり、県と市町は協力して、計画的に事業を進めていく必要がある。」
24	浅野	自然公園地域の活用・規制	三重県は、自然公園地域の面積が全国一であるが、土地利用規制を進めて、自然公園区域内の不適切な開発を止められると良い。	(回答なし)	・下記のとおり記載しました。 (P10-29行)「三重県は国立公園が2つ、国定公園が2つ、県立公園が4つある自然公園地域の多い県であるが、普通地域が多く、私有地がその多数を占めるため、規制の実効性が弱い状況であることから、自然公園地域としての役割を明確にする方策を進めていく。」
25	鵜飼	遊水池の整備	桃園地区の遊水池は10年に一度浸かる。避難場所の小学校も低地で避難できない。避難場所や遊水池の整備を計画の中に入れて欲しい。	現状の遊水池を確認した上で、表記を検討する。	・水害にかかる被害の増加と、それに対する防災・減災の内容を、下記のように記載しました。 (P6-18行)「ウ 災害に強い県土の形成」において、「全国的に雨の降り方が局地化、集中化、激甚化するなかで、水害、土砂災害が頻発化、激甚化することが懸念されている。このため、防災・減災対策の強化とともに、災害リスクの高い地域における土地利用の適切な制限や、より安全な地域への諸機能や居住の誘導など、安全性を優先的に考慮する県土利用の転換が急務となる。」
26	白鳥	PDCAのサイクルの実施	審議会の所管事項で、PDCAを加えていただけたら、有り難い。	(回答なし)	・土地利用基本計画は、各個別法の規制にかかる基準となることはできますが、規制にかかるPDCAは規制法の中で行うこととなり、整合性や公権力の行使の観点から、土地利用基本計画で同じようにPDCAを回すことはできないと考えます。 ・土地利用基本計画は、法律により策定が義務づけられ、記載事項も定められていることから、その規定を越える内容は実効性のないものとなります。 ・5地域の現状を把握し、計画の記載と合っているかどうかについての検証作業は行えますが、国において策定される国土利用計画、国土形成計画、国土強靱化計画等の個々の計画は連動しており、個別法も同様に整合が取られていることから、調整を主とした計画である土地利用基本計画において、PDCAサイクルを設定し、実効性を伴う内容とすることは、難しいと考えられます。

# 国土に関する諸計画の体系

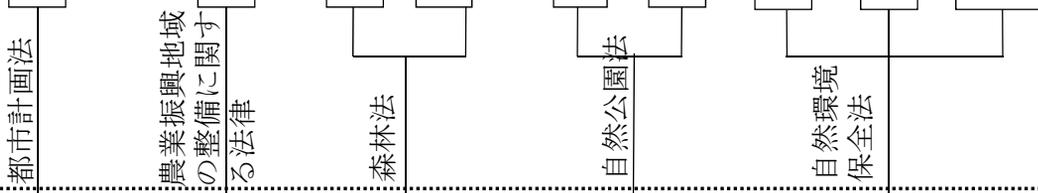
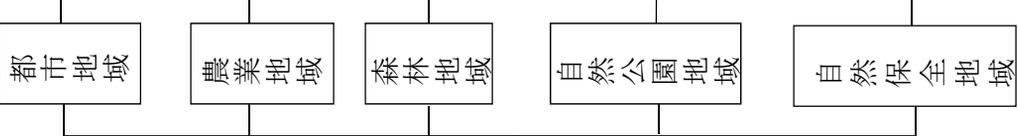
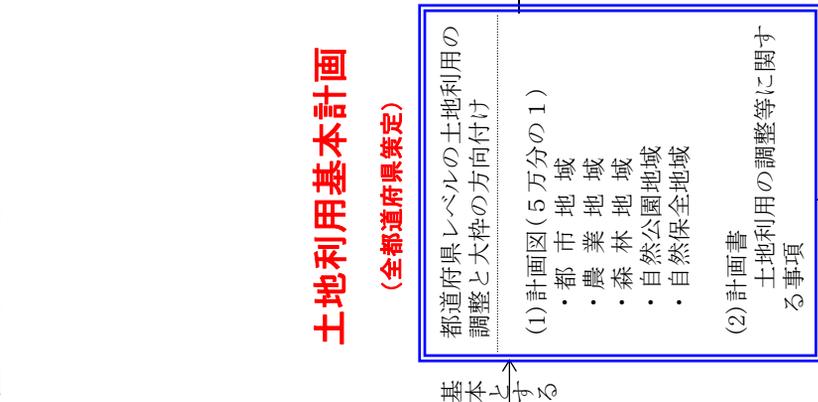
## 国土形成計画法



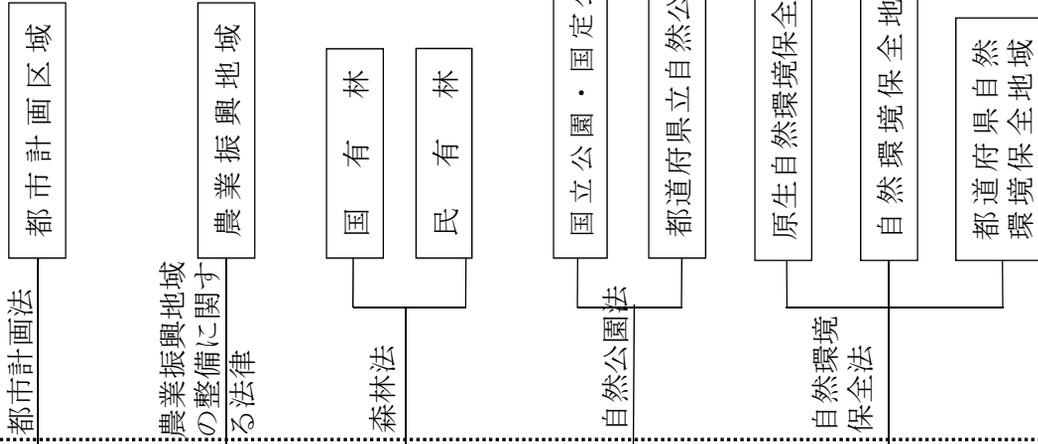
**計画への多様な主体の参画**  
 ・地方公共団体から国への計画提案  
 ・国民の意見を反映させるための必要な措置



## 国土利用計画法



## 土地基本法



## 大都市圏整備に関する計画

- ・首都圏整備計画
- ・近畿圏整備計画
- ・中部圏開発整備計画

## 各種振興計画

- ・半島振興計画
- ・山村振興計画
- ・離島振興計画 等

# 国土利用計画法と個別法及び諸計画の体系

